

院内トリアージ実施基準

当クリニックでは外来受診した患者に対して、全身状態を評価し、診療や治療の優先順位を決定し、重症患者が優先的に受診できるシステムとして、下記の要領で院内トリアージを実施する。開始時刻は平日 18 時、土曜 12 時、日祝終日とする。

- 1) 受付時に現在の症状や受診理由を確認
- 2) 医師もしくは看護師が呼吸、循環、意識レベルを評価する。
- 3) トリアージ分類表（下表）に基づいて緊急度を判定する。
- 4) 待ち時間に応じて再度トリアージを行い、状態の変化を判断する。

トリアージ分類表（JTAS に準拠）

緊急度判定レベル	症状の特徴例	再評価の目安
蘇生	生命または四肢・臓器が危篤状態で、直ちに対応が必要な状態。	治療の継続
緊急	生命または四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早急に初期対応が必要な病態	15 分ごと
準緊急	バイタルサインは安定しているが、長時間待てない状態	30 分ごと
低緊急	緊急性が低く、診察までに 1～2 時間程度待てる状態	1 時間ごと
非緊急	緊急性や病態の憎悪は考えられず、診察まで長時間待てる状態	2 時間ごと

外来診療の主な流れ

来院→受付→緊急度判定（院内トリアージ）

→診察待機（再評価）→診察・処置→帰宅・他病院へ紹介・搬送

2025 年 4 月 25 日作成

横浜こどもクリニック

増山 宏明

※なお、定期的に見直しを実施することとする